

DESIGNPHIL NEWS LETTER

2023 VOL.39

MD PAPER PRODUCTS® 15th Anniversary



MADE IN JAPAN

NEWS LETTER

2023 VOL.39

MD PAPER PRODUCTS® 15th Anniversary

DESIGNPHIL NEWS LETTER

デザインフィル ニュースレター 第39号

発行日 | 2023年1月31日

企画・編集 | マーケティング部 広報グループ

TEL 03-5789-8058 FAX 050-3606-4957

株式会社デザインフィル

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー 9F

www.designphil.co.jp

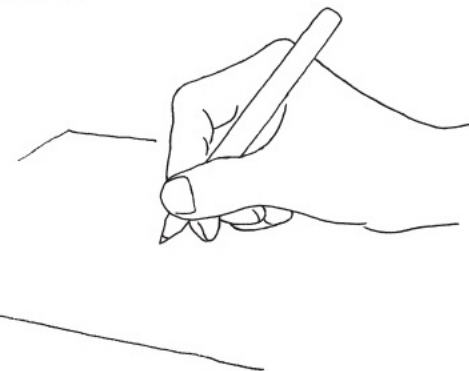
「書く」を愉しむ

Designed for Comfortable Writing

MD News Letter

A5 15周年

15Anniversary



これからの働き方



代表取締役社長
会田 一郎

リモートワークが定着して早くも3年が経過しました。コロナ前に戻るにはまだ時間がかかりそうですし、社会環境に応じて働き方の最適解は変化していくはずです。3年間を通じて得た術と知識を柔軟に活用していきたいと思います。

当社では運よく緊急事態宣言以前にパンデミックや震災などの自然災害を想定してハードウェア/ソフトウェア環境の整備や問題点の検証を行っていましたので、勤務体制を短期間で切り替えることができました。リモート環境下では、通勤時間の有効利用、フレックスと合わせた柔軟な勤務体制、短時間で効率的な会議、子どものケアなど私たちにとって大きな利点があるのは確かです。一方で、これが職場環境の最適解かという点、長期に渡っての影響まで考えると簡単に結論は出せません。人とのリアルな接触頻度が下がることからくる孤独・孤立感の問題。対面の活発な意見の交換から生まれる発想や場を同じくすることによって得られる共感などの大切な要素は保持できるでしょうか。この問いは喫緊の課題です。

出社の効用として雑談がよく取り上げられますが、議題のみが話し合われがちなりモート会議に比べ、会話の生まれやすいカジュアルな接点が人と人との距離を縮めるのは間違いないでしょう。また飲み会など非定型のコミュニケーションには、話者が一人に限定されるリモート会議は合わないように思えます。リモート会議が対面の話し合いと最も違うのはお互いに目を見ていないことだという研究結果もあります。PCのカメラで相手に視線を合わせようとすれば目の前のカメラを見なければなりませんが、それでは自分が相手を見ている状態にはなりません。メタバースの技術などが後に解決するのかもしれませんが、現在のところコミュニケーションが生み出し得る共感においては対面に分があります。

チームスポーツでは一堂に会してのチーム練習、モチベーションを上げるためのミーティングや、試合中の次プレイの確認や円陣など、“合わせる”ことが不可欠です。その結果、見違えるようにコンビネーションが機能して勝利につながることも珍しくありません。そう考えると、コミュニケーション効果は対面するオフィス環境に分があります。このことから、当社ではこれからの働き方を職種によってリモートと出社の最適な比率を定めるハイブリッド型に求めようと考えています。

話は変わりますが、本誌で特集させていただいた「MD PAPER PRODUCTS」はおかげさまで発売から15周年を迎えました。長きに渡り、日本および世界市場において多くの皆さまにご愛用いただき誠にありがとうございます。書き手の多様な表現を邪魔せずに筆記性や書き心地を追求した「ミニマムなデザイン」は、長く愛着をもって利用されることを目指しており、私たちの環境貢献のテーマであるロングライフに通じるものです。デザインフィルではデザインの力で環境負荷の低い製品を生み出し、環境に調和した豊かな社会の実現に貢献したいと考えています。

MD PAPER PRODUCTS®

15th ANNIVERSARY

『MDノート』の書き心地を追求したら、 丸ごと「MD用紙」になりました！

2023年1月、MD PAPER PRODUCTS®が

誕生から15周年を迎えました。

書き心地を追求した結果、

ハネ（ノートの表紙にあたる部分、以下「表紙」）を

「MD用紙」に変更し、始めから終わりまで、

丸ごと一冊「書くを愉しむ」ノートに

生まれ変わりました。

イラストを描いてもよし、すてきな一文を記すのもよし。

表紙をどんな風にアレンジしようか。

また一つ書く楽しみが増えました。

開発の裏側

「MD PAPER PRODUCTS」の企画開発担当者に
今回のリニューアルについて聞いてみました。

表紙を「MD用紙」に
変えようと思ったきっかけは？

『MDノート』は表紙もまっさらなので、表紙にタイトルやイラストを書くことが多いのですが、見返しのタイトル欄も含めて書き心地や色みが本文と違うことに違和感がありました。

書くことにこだわり続ける『MDノート』として一冊丸ごと書き心地を追求しようと思い今回のリニューアルに至りました。

表紙の厚さの
こだわりはありますか？

今回のリニューアルに着手した際、書くときに開く、書いた後に見返す、外で書く、などさまざまな所作のプロトタイプングを重ねて検討し、今の使用感にたどり着きました。

開発中苦労した点は？

厚みが変わっても「MD用紙」の書き心地を損なわないように、平滑性、インクの乗り具合を50種類以上の筆記具で検証し、テスト抄造を2年間繰り返しました。表紙と見返しの紙厚や紙目、糊の量など、最良の組み合わせを見つけるために、さまざまなパターンで試作を行いました。

改めて、『MDノート』の書き心地って
どんなことだと思いますか？

かすかにざらつく「MD用紙」にペン先を滑らせると、ペン先から小さな音が聞こえます。書いている実感を噛みしめられる、そんな絶妙な風合いと、万年筆で書いても裏抜けやにじみがしにくいというストレスフリーな品質にこだわっています。そのため時代に合わせた筆記具を絶えず検証しています。

どんな風に
愉しんでもらいたいですか？

紙に書く（描く）ことで、自分と向き合う時間をつくること。

一冊のノートを頭の中の余白として、例えば、記録する、発想する、思索する... など、自分の頭と心の中を可視化すること。自分を理解し、表現することが内側から生まれる『愉しむ』につながる。そんな風に愉しむためのプロダクトです。

プロデューサー
田中風実



デザイナー
齋藤泰陽



「MD PAPER PRODUCTS」について
みさらいをしてみましょう。

「MD PAPER PRODUCTS」とは？

自社開発の
「MD用紙」の魅力を伝えるための
日本製のシンプルなプロダクトです。

わたしたちの手元には1960年代から自
分たちで使い、書き心地をアップデート
し続けてきた「MD用紙」がありました。
普遍的なクオリティとは何なのか。「MD
用紙」を通して、プロダクトとしてかたち
にしながら、考え続けています。

「MD PAPER PRODUCTS」は 豆腐に似ています。

紙の主原料はパルプと水、豆腐の材料は
大豆と水。どちらも非常にシンプルな
素材でありながら、作り手のこだわりや
工程がとても重要です。
毎日食べても飽きない豆腐のように、日々
の出来事を記すのに欠かせない究極の
スタンダードを目指しています。



紙のこだわり

書く音が聞こえる。

1960年代から自社で開発を行う、

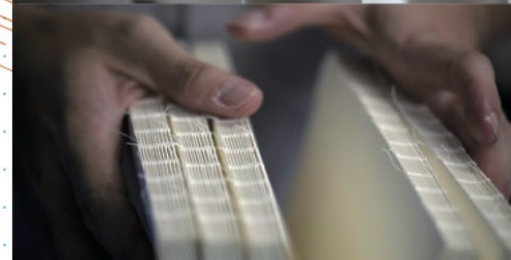
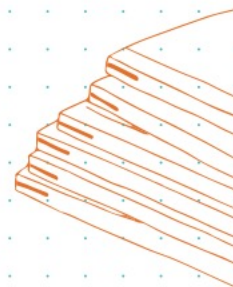
オリジナルの筆記用紙

「MD用紙」には柔らかな風合いに仕上げる
広葉樹でつくられたパルプを使用しています。
インクのにじみ具合、乾きやすさ、裏抜け、さ
らに紙のすべりやひっかり具合といった書
き味、肌触り、風合いなどの質感まで、あら
ゆる項目すべてが合格となった「MD用紙」が、
皆さんのお手元に届けられるのです。

つくりのこだわり

紙の魅力を最大限に伝える
ギリギリまで余計なものを削ぎ落とした
究極のスタンダード

『MDノート』には実は表紙はありません。
表紙と呼ばれているものは、見返しと本文
を抑える役割をしています。ストレスなく
180度フラットに開けるように製本は
糸かがり綴じです。どの工程も人が目で
見て、手で触り、その環境、状況を感じ取り、
機械と協働しながら調整をしています。



15周年を記念した新製品&限定製品

15周年を記念して「書く」を愉しんだり、
自分の好きな「書く」を発見してもらうための道具が登場します。
その一部をご紹介します！

MDつけペン

書くを愉しむなら、色も愉しみたい。

そんな思いから「MD PAPER PRODUCTS」に
じっくり馴染むつけペンを作りました。
飾らないまっさらなボディをかたどるのは紙パウ
ダーを主原料とした、環境にやさしい素材。さらり
とした紙の質感をペンに再現しました。



MDボトルインク

「書く」に向き合うひとときの高揚感を味わえるボトルインク。



『MDノート』の野線色やスピनなどからイメージ
したカラーを調色したインクです。
「ミドリ」70周年限定製品として発売した3色
(グレー、オレンジ、青)は定番色に、6色(赤、えんじ、
黄、緑、ブルーグレー、紺)を限定色としてライン
アップしました。『MDつけペン』、『MD万年筆』
と一緒に楽しみたい。

開発裏話

色を選ぶ際にこだわったことは？

「MD用紙」に書いた際の調和を心掛けました。
文字を書くことを愉しめるように、一番明るい黄色も
はっきり読める濃度に調整しています。



MDツールボックス

『MDノート』の製造過程で出る端材を使って作ったツールボックス。

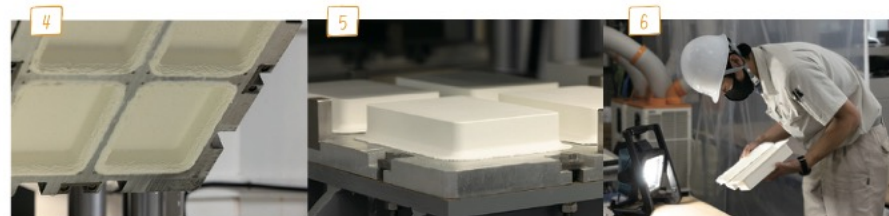
紙ならではの温かみが魅力のケースです。ふたを返して
トレイとしてもお使いいただけます。



材料は、『MDノート』の印刷時に出る
損紙や製本過程で断裁された端材
にバルブを配合

端材を繊維に戻すため、
大きな窯のようなミキサーにかけて
溶かします

まるで粥のよう！
水分量が99%以上になるように、
さらに薄めています



穴の開いた型で吸い上げて
製品の形状に整えます

プレス型に移動し、
水分を飛ばしています

重量を計測したら、
人の手で一つひとつ丁寧にチェック

完成



耳をカットしたら完成！
ツールボックスに生まれ変わりました

開発裏話



苦労したところは？

『MDノート』の端材を使っているので、
紙以外の素材も含まれます。
例えば寒冷紗のダマが出来てしまい
機械に影響が出るなど
トラブルもありました。
大きなものは手作業で一つひとつ
除去し、丁寧に作り直しました。

MDノート 15th アーティストコラボ

イラストレーター、カリグラファー、素描家、漫画家など国内外のアーティストが描いた表紙のグラフィックを空押しで再現した文庫サイズの『MDノート』です。

「idea」をテーマに、それぞれの個性が現れたすてきなグラフィックに仕上がりました。



ame:雨宮三起子



荒川リジー



アンドリュー・ジョイス



WALNUT



エイドリアン・ホーガン



エイリーズ・モロス



キャロライン・ロバート



COOKIEBOY



グレース・リー



シャーリーン・マン



shunshun



タナカカツキ



中山研志



ホーリー・ウェールズ



マテウシュ・ウルバノヴィチ

開発裏話



特に印象に残ったアーティストは？

皆さん素晴らしいのですが、shunshunさんの素描は水性ペン1本で描かれています。素描家という肩書きの通り「素」に「描」くことを日常にされています。ペンを1週間で1本使い切っていて、自宅の引き出しには使い終わったペンがきれいに収められているそうです。

この他、手のひらサイズの『MDノートライト』の3冊セットや、たっぷり使える「MD用紙」の『MDブロックメモ』、「MD用紙」のためのクリーム色の『MD修正テープ』、『MD万年筆用コンバーター』など、書くを楽しむアイテムがさらに充実しました。

MD 15th スペシャルイベント & ポップアップストア

15周年を記念してユーザーイベントを開催します。

- 1 国内外15人のアーティストがリニューアルした『MDノート』に描いた作品を展示
- 2 ワークショップ① エクスリブリス(蔵書票)の活版印刷体験 ※購入金額5,000円(税込)以上の方対象
- 3 ワークショップ② 自分で紙を束ねてつくるMDブロックメモの天糊体験

イベント限定アイテムの販売



- MDブックスタンド モルタル/MDブックエンド バスコ
『MDノート』に似合う、無垢な質感のモルタル製のノートスタンドと、硬質ボード紙「バスコ」を使用したノートエンド
- MD用紙厚口 10枚パック(A6、A4)、MD用紙特厚口 10枚パック(A6、A4)
リニューアルした『MDノート』の表紙と見返しに使用している「MD用紙」
- MDブロックメモ天糊体験キット
イベントで体験できる『MDブロックメモ』の製本体験が自宅でお楽しみいただけるキット
- 羊、牛、馬3種類のヌメ革ノートカバー
それぞれ異なる質感が楽しめるヌメ革のノートカバー

購入金額2,500円(税込)以上のお客さまには、15人のアーティストの一人、shunshunさん描きおろしのオリジナルエクスリブリス(蔵書票)4枚セットをプレゼント!

東京

1月13日(金)~15日(日)
Showcase(青山・スパイラル 1F)

広島

1月28日(土)~2月12日(日)
リーダンディート

福岡

2月9日(木)~2月15日(水)
六本松 蔦屋書店

海外

中国・杭州

3月中旬頃~
杭州天目里 蔦屋書店

中国・蘇州

4月中旬頃~
誠品生活蘇州

台湾・台北

7月20日(木)~8月7日(月)「理想的文具」内
誠品書店信義店

この他、世界各地の書店でPOP UP イベントが開催される予定です。



コマーシャルデザイン事業部の新たな取り組みとして、株式会社スクウェア・エニックスの国民的人気ゲーム「ドラゴンクエスト」の文具ブランド「ドラゴンクエスト文具屋」を共同開発しました。「ミドリ」の製品をベースに、「ドラゴンクエスト」の世界観・ゲーム体験を表現した魅力的なアイテムラインアップとなり、文具を通じた新たな顧客創出にも貢献しました。

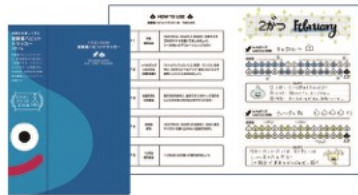


開発の裏話を
ご覧いただけます。

発売元：スクウェア・エニックス



冒険ダイアリー2023〈スライムブルー〉3,850円(税込)



経験値ハビットラッカー〈スライム〉1,320円(税込)



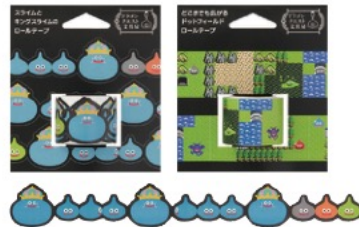
2本差しペンケース
〈スライムブルー〉
1,760円(税込)



スライムも描ける
クリップ定規
1,210円(税込)



真鍮ボールペン〈スライムブルー〉
〈メタルスライムグレー〉2,970円(税込)



ロールテープ〈スライム〉〈ドットフィールド〉
858円(税込)



デコレーションシール 1
〈ドットデザイン〉
385円(税込)



デコレーションシール 2
〈スライムデザイン〉
385円(税込)



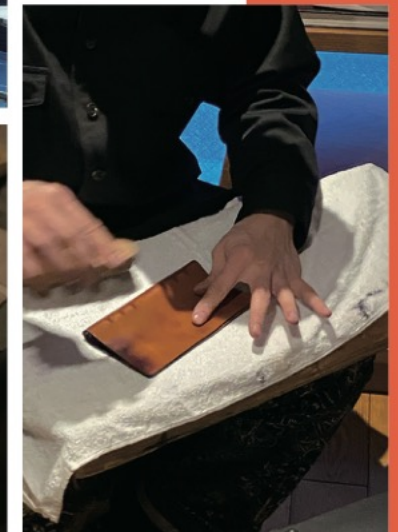
浸透印スタンプ
〈スライムがあらわれた!〉〈キングスライム〉
1,430円(税込)

© ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX All Rights Reserved.

PLOTTER 5周年記念 スペシャルポップアップストア

2022年12月10日(土)～11日(日)

2017年9月に誕生したクリエイティブツールブランド「PLOTTER」。「システム手帳の枠を超え、もっと自由に、もっとクリエイティブに、ノートのように使って欲しい」をテーマに「PLOTTER」ならではの世界観を打ち出してきました。ブランド創設5周年を記念して2022年12月にスペシャルポップアップストアイベントを開催。来場いただいたファンの皆さんには、「PLOTTER」のオリジナリティあふれる世界をお楽しみいただきました。



環境貢献活動

今期より、環境・社会貢献のプロジェクトを発足し、本格的な活動をスタートしました。品質やデザイン性を落とすことなく、温室効果ガス排出量や廃棄物を削減、長く使える魅力的なプロダクトの開発、パッケージの見直しや、消費者とコミュニケーションを取りながら一緒にSDGsに照らし合わせたサステナブルな世界を目指すなど、デザインフィルらしいやり方を模索しながら、さまざまな取り組みを行っています。

製造工程で出た損紙から作ったクリスマスカード



昨年皆さまにお送りしたデザインフィルのクリスマスカードは、当社流山工場の製造工程において発生した損紙(印刷がされていない断裁の縁やインクの量が少なく再生できる紙)を原料に抄造した再生パルプモールド紙にレーザー加工でデザインを施しました。紙本体の設定(厚みや凸凹の出方)+データの調整+レーザーの調整の一番適したものを見つけるため、試作を何度も繰り返すなど試行錯誤しながら完成。凹凸面にレーザー加工で表現できるギリギリの細かさに挑戦しました。プロダクトを製造する過程では、さまざまな廃棄物が発生します。デザインフィルでは今後も廃棄を減らし、資源を循環させる取り組みを行ってまいります。



1. 原料
流山工場から届いた損紙がベルトコンベアで運ばれます。



2. 溶解
損紙を水と一緒に溶解し、ドロドロの繊維状にしていきます。



3. 成形
溶解した繊維を金型で抄きあげ、成形します。



4. 乾燥
成形されたものを乾燥炉に入れ、乾かします。



5. プレス
熱をかけてプレスすることで平らに仕上げ、寸法を矯正します。



6. レーザー加工・断裁
高精度レーザーで加工。さらに、抜き加工を施し完成！

グッドデザイン賞、キッズデザイン賞受賞



アルミダンボールカッター



スローコンベックスメジャー



紙製ケースの修正テープ

2022年度グッドデザイン賞受賞

「ミドリ」「アルミダンボールカッター」「スローコンベックスメジャー」、『紙製ケースの修正テープ』

第16回キッズデザイン賞特別賞 東京都知事賞受賞

「ミドリ」「スローコンベックスメジャー」

デザインフィル役員人事のお知らせ

2022年9月28日(水)、株式会社デザインフィル定時株主総会を恵比寿本社にて開催し、下記役員が承認可決されました。

役員一覧(2022年9月28日現在)

代表取締役社長	会田 一郎
専務取締役	豊田 栄一
取締役	太谷 博司
監査役	下川 良彦(株式会社キャム 代表取締役)

編集後記

2023年、皆さまはどんな新年を迎えられましたでしょうか。
当社では、昨秋から今年にかけて、「PLOTTER」、「ミドリ」の『連用日記 扉』、『MD PAPER PRODUCTS』が周年を迎え、ユーザー向けのイベントを開催しました。リスクはありつつも、ファンの皆さまと同じ時間や空間を共有できるとい、リアルならではの魅力があり、改めてこういったイベントを開催できる喜びをかみしめています。
本年も実りある1年になりますように。どうぞよろしくお願いいたします。(編集長M.N)